

## 第 11 回

# 大腸ステント安全手技研究会

会期 2023 年 11 月 3 日（金） 13：45～18：00

会場 スペースアルファ三宮 特大会議室

神戸市中央区三宮町 1-9-1 三宮センタープラザ東館 6F

代表世話人

東邦大学医療センター大橋病院 外科

齊田芳久

当番世話人

日本医科大学付属病院 消化器外科

松田明久

# Space Alpha Sannomiya Access MAP



JR三ノ宮駅・阪急神戸三宮駅・  
阪神神戸三宮駅・地下鉄三宮駅・  
ポートライナー三宮駅より徒歩  
約5分

JR	西口改札口を出て左へ進み、エスカレーター（階段）を下りてください。		右斜め前の高層ビルを目指してください。
市営地下鉄	東出口6番を出て、JR三ノ宮駅西口改札前を通り、エスカレーター（階段）を下りてください。		
阪神電鉄	西口改札を出て右へ進み、斜め左手のエスカレーター（階段）を上ってください。		正面の高層ビルがセンタープラザ東館です。横断歩道を渡ってビルにお入りください。
阪急電鉄	西口改札を出てエスカレーター（階段）を下り、左へ進んでください。		

## 建物入口⇒エレベーターへのご案内

①コンビニエンスストアとパチンコ店の間を入ります。



②階段（エスカレーター）手前を右に曲がります。



③通路を進むと右手にエレベーターホールがあります。



④エレベーターで6Fまでお越しください。



スペースアルファ三宮

〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-9-1 三宮センタープラザ6F  
Tel **078-326-2540** FAX 078-326-2542  
Email info-sas@miyako-group.com  
URL <https://spacealpha.jp/sannomiya/>



# 参加者へのご案内とお願い

## ●参加登録について

参加費：3,000 円（大腸ステント安全手技研究会 年会費 1,000 円を含む）

## ●参加受付について

会 場：スペースアルファ三宮 特大会議室

日 時：2023 年 11 月 3 日（金） 13：15～

## ●第 23 回運営委員会・世話人会

会 場：スペースアルファ三宮 特大会議室

日 時：2023 年 11 月 3 日（金） 13：00～13：45

## ●司会・座長の先生へのお願い

受付はございません。

ご担当のセッションの開始 10 分前には会場内の次座長席にご着席下さい。

時間内に円滑に進行するよう御配慮をお願いします。

## ●発表時間

主題演題 7 分（発表 4 分、討論 3 分）

一般演題 6 分（発表 4 分、討論 2 分）

## ●発表者へのお願い

会場内でデータの事前受付を行います。13：30 までにご登録お願いいたします。

ご自身の PC、または USB をお持ち下さい。

Mac でスライドを作成した場合には、ご自身の PC での発表を推奨いたします。

ご発表の 5 分前には次演者席にご着席ください。

演台上に設置しておりますマウスもしくはキーボードにて、ご自身でスライド操作をしてください。

# プログラム

開会の辞 【当番世話人挨拶】

(2分)

13:45~14:47

当番世話人：松田明久（日本医科大学付属病院 消化器外科）

第Ⅰ部 【特別講演】

13:47~14:32

座長：斉田芳久（東邦大学医療センター 大橋病院 外科）

伊佐山浩通（順天堂大学医学部付属順天堂医院 消化器内科）

1. 『大腸ステント安全手技研究会 10年の業績～これまでの論文イッキ読み～』

○桑井寿雄（独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター中国がんセンター）

2. 『大腸 Covered stent の短期成績』

○水本吉則（みずもと内視鏡・消化器内科クリニック）

第Ⅱ部 【主題演題Ⅰ】 ステントの使い分け

(発表：4分、質疑：3分)

13:42~15:07

座長：齊藤修治（横浜新緑総合病院 消化器センター）

1. 当院における Partial covered stent の使用経験

○三重堯文、佐々木隆

がん研有明病院 肝胆膵内科

2. 逸脱を想定した Jabara stent 留置後の大腸癌化学療法：シングルフレアタイプ(パーシャルカバー)の使用経験

○稲田泰亮、隅田頼信、前原浩介、本間仁、塩月一生、福田慎一郎、秋穂裕唯

北九州市立医療センター 消化器内科

3. 当院における covered stent の使用経験

○宮川佑、玉田健次、阿部創平、藤澤剛太、大矢由紀子、畑昌宏、石橋嶺、鈴木伸三、高原楠昊、中井陽介、

藤城光弘

東京大学医学部附属病院 消化器内科

#### 4. スtent別の緩和目的大腸stent留置術の検討

○佐野村洋次<sup>1)</sup>、東山真<sup>1)</sup>、平本智樹<sup>1)</sup>、平賀裕子<sup>1)</sup>、渡邊千之<sup>1)</sup>、三口真司<sup>2)</sup>、池田聡<sup>2)</sup>  
県立広島病院 内視鏡内科<sup>1)</sup>、内視鏡外科<sup>2)</sup>

### 第 III 部 【主題演題 II】 大腸stentと化学療法

(発表：4分、質疑：3分)

15：07～15：42

座長：遠藤俊吾（福島県立医科大学会津医療センター 小腸大腸肛門科）

#### 1. 大腸stent留置後に化学療法を施行した症例の検討

○藤澤剛太、玉田健次、阿部創平、宮川佑、大矢由紀子、畑昌宏、石橋嶺、鈴木伸三、高原楠昊、中井陽介、藤城光弘  
東京大学医学部附属病院 消化器内科

#### 2. 当院における大腸stent後症例における術前化学療法の治療成績

○花畑憲洋<sup>1)</sup>、五十嵐昌平<sup>1)</sup>、島谷孝司<sup>1)</sup>、佐竹美和<sup>1)</sup>、須藤信哉<sup>1)</sup>、高昌良<sup>1)</sup>、金澤浩介<sup>1)</sup>、沼尾宏<sup>1)</sup>、村田暁彦<sup>2)</sup>、棟方正樹<sup>1)</sup>  
青森県立中央病院 消化器内科<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>

#### 3. 当院における大腸stent留置症例に対する化学療法の経験

○成田和広<sup>1)</sup>、結城啓介<sup>1)</sup>、山元崇輔<sup>1)</sup>、渡部和玄<sup>1)</sup>、皆川結明<sup>1)</sup>、望月一太郎<sup>1)</sup>、石山泰寛<sup>1)</sup>、小根山正貴<sup>1)</sup>、網木学<sup>1)</sup>、原義明<sup>1)</sup>、日月裕司<sup>1)</sup>、岡本法奈<sup>2)</sup>、森重健二郎<sup>2)</sup>、塚本啓佑<sup>2)</sup>、谷口文崇<sup>2)</sup>、大前芳男<sup>2)</sup>、後藤学<sup>1)</sup>  
石心会 川崎幸病院 消化器病センター 外科<sup>1)</sup>、消化器内科<sup>2)</sup>

#### 4. 化学療法の有無から見た大腸stent留置後穿孔リスクの検討

○小澤俊一郎、若尾聡士、曾田均、佐藤公  
独立行政法人地域医療機能推進機構山梨病院 消化器病センター

### 第 IV 部 【一般演題 I】

(発表：4分、質疑：2分)

15：42～16：42

座長：榎本俊行（東邦大学医療センター 大橋病院 外科）  
石橋嶺（東京大学医学部附属病院 消化器内科）

#### 1. 大腸悪性狭窄stent留置後の再閉塞に対し、Covered SEMSが有効であった3例

○樺映志、村上敬、北裕次、大森将史、牛尾真子、高橋翔、高崎祐介、赤澤陽一、富嶋享、石井重登、藤澤聡郎、伊佐山浩通、永原章仁

順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科

## 2. 川澄ジャバラ大腸ステントの用手的な肛門縁位置調整法

○本間仁、隅田頼信、稲田泰亮、前原浩介、塩月一生、福田慎一郎、秋穂裕唯

北九州市立医療センター 消化器内科

## 3. Palliative therapy としての大腸ステント留置術の成績と工夫

○遠藤俊吾、五十畑則之、愛澤正人、歌野健一、富樫一智

福島県立医科大学会津医療センター 小腸大腸肛門科

## 4. 当院における緩和的大腸ステント留置に関する経験と工夫

○大森順<sup>1)</sup>、松田明久<sup>2)</sup>、星本相理<sup>1)</sup>、西本崇良<sup>1)</sup>、秋元直彦<sup>1)</sup>、辰口篤志<sup>1)</sup>、岩切勝彦<sup>1)</sup>

日本医科大学付属病院 消化器肝臓内科<sup>1)</sup>、消化器外科<sup>2)</sup>

## 5. 大腸ステント閉塞時再ステント留置の際に有効なガイドワイヤー操作「Preformed loop technique」の紹介

○若尾聡士、小澤俊一郎、曾田均、佐藤公

独立行政法人地域医療機能推進機構山梨病院 消化器病センター

## 6. 逸脱した大腸ステントを内視鏡的に位置修正できた他臓器癌直接浸潤による大腸イレウスの一例

○大木孝之<sup>1)</sup>、星本相理<sup>1)</sup>、糸川典夫<sup>1)</sup>、松田明久<sup>2)</sup>、西本崇良<sup>1)</sup>、大森順<sup>1)</sup>、秋元直彦<sup>1)</sup>、辰口篤志<sup>1)</sup>、岩切勝彦<sup>1)</sup>

日本医科大学付属病院 消化器肝臓内科<sup>1)</sup>、消化器外科<sup>2)</sup>

## 7. 当院における大腸ステント留置術の成績

○高村卓志、熊切寛、五代天偉、鈴木紳佑、伊藤麻衣子、鈴木創太、福田敏之、畑山礼、鈴木紳一郎

藤沢湘南台病院 外科

## 8. キャストフードとビスコクリアを使用した狭窄部へのスコープ送達法(挿入法)

○前原浩介、隅田頼信、稲田泰亮、本間 仁、塩月一生、福田慎一郎、秋穂裕唯

北九州市立医療センター 消化器内科

座長：大木岳志（東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター 消化器外科）  
隅田頼信（北九州市立医療センター 消化器内科）

1. 直腸癌による長い狭窄に対し複数本ステント留置後穿孔に至った1例

○山本龍一<sup>1)</sup>、高木睦郎<sup>2)</sup>、川山幹雄<sup>1)</sup>、楠本秀樹<sup>1)</sup>、萩谷哲一<sup>2)</sup>、品田玲奈<sup>2)</sup>、下元雄太郎<sup>2)</sup>、高山悟<sup>2)</sup>、都築義和<sup>3)</sup>、佐藤一彦<sup>2)</sup>、渡部和巨<sup>2)</sup>

東京西徳洲会病院 消化器内科<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>、埼玉医科大学病院 消化管内科<sup>3)</sup>

2. 大腸ステント挿入後、切迫破裂により救命しえなかった一例 -この経験より学ぶ事-

○腰野蔵人<sup>1)</sup>、近藤宏佳<sup>1)</sup>、谷公孝<sup>1)</sup>、前田文<sup>1)</sup>、金子由香<sup>1)</sup>、隈本力<sup>1)</sup>、番場嘉子<sup>1)</sup>、田中マリ子<sup>2)</sup>、大森鉄平<sup>2)</sup>、高山敬子<sup>2)</sup>、小川真平<sup>1)</sup>、山口茂樹<sup>1)</sup>

東京女子医科大学 消化器一般外科<sup>1)</sup>、消化器内科<sup>2)</sup>

3. 大腸ステント留置術に伴う穿孔例の検討

○飴田咲貴<sup>1)</sup>、久居弘幸<sup>1)</sup>、櫻井環<sup>1)</sup>、小柴裕<sup>1)</sup>、鈴木慎人<sup>1)</sup>、川崎亮輔<sup>2)</sup>、行部洋<sup>2)</sup>、吉田直文<sup>2)</sup>

伊達赤十字病院 消化器科<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>

4. 当院における穿孔症例の詳細検討

○玉田健次、阿部創平、藤澤 剛太、宮川佑、大矢由紀子、畑昌宏、石橋嶺、鈴木伸三、高原楠昊、中井陽介、藤城光弘

東京大学医学部附属病院 消化器内科

5. 膿瘍形成の伴った閉塞性大腸癌に対する大腸ステント挿入経験

○橋本瑤子、榎本俊行、長尾さやか、小幡七菜、斉田芳久

東邦大学医療センター 大橋病院 外科

6. ステント留置から減圧までの期間の検討

○阿部創平、玉田健次、藤澤剛太、宮川佑、大矢由紀子、畑昌宏、石橋嶺、鈴木伸三、高原楠昊、中井陽介、藤城 光弘

東京大学医学部附属病院 消化器内科

7. 大腸ステント留置後も口側腸管の減圧が得られず難渋した症例

○奥田康博、桑井寿雄、仙波重亮、加藤尚宏、菅田修平、寺岡雄吏、水本健、田丸弓弦、楠龍策、山口厚、河野博考

8. 用手的に除去し得た逸脱ステントの一例

○本宮里奈<sup>1)</sup>、秋元直彦<sup>1)</sup>、松田明久<sup>2)</sup>、遠藤勇氣<sup>3)</sup>、大森順<sup>1)</sup>、星本相理<sup>1)</sup>、西本崇良<sup>1)</sup>、辰口篤志<sup>1)</sup>、岩切勝彦<sup>1)</sup>

日本医科大学付属病院 消化器肝臓内科<sup>1)</sup>、消化器外科<sup>2)</sup>、泌尿器科<sup>3)</sup>

---

第VI部 【ミニレクチャー】

(講演：10分、質疑：3分)

17：42～17：55

司会：松田明久（日本医科大学付属病院 消化器外科）

『数値シミュレーションを用いた大腸ステントの術前展開予測への挑戦』

○須賀一博<sup>1)</sup>、松田明久<sup>2)</sup>（工学院大学<sup>1)</sup>、日本医科大学付属病院 消化器外科<sup>2)</sup>）

---

次回（第12回）当番世話人挨拶

(2分)

17：55～17：57

---

閉会の辞

(3分)

17：57～18：00

代表世話人：齊田芳久（東邦大学医療センター 大橋病院 外科）